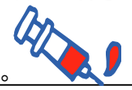
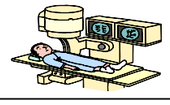
翌日緊急カテーテル治療を受ける患者さんへ　　【患者さん用クリニカルパス】

ID:　　患者氏名:　　様

経過	入　院　日（経皮的冠動脈形成術前日）	経皮的冠動脈形成術当日（治療前）	経皮的冠動脈形成術当日（治療後）	3日目（治療後1病日）	4日目（退院日）
日付	月　日（　）	月　日（　）		月　日（　）	月　日（　）
目標	治療の内容が理解でき、検査を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。	合併症状出現時に意思表出ができる。	合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	・医師より治療の説明を行います。説明後、承諾書を記入して提出してください。 ・看護師が入院生活および治療のオリエンテーションを行います。 ・医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話ください。	・治療中ご家族の方は東6B病棟で待機してください。 	・医師から治療結果について説明があります。 ・治療した手首は強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。		・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。 （治療直後に行うこともあります） ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈（正中・橈骨）の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位（橈骨または大腿）を必要時は除毛します。 ・点滴の管を入れる処置を行います。	・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。  ・1時間前に手首表面を麻酔するためのテープを貼ります。 ・治療前から点滴を行います。	・点滴を継続します。 ・治療後、4回圧迫している空気を2mlずつ抜きます。 ・4回目の空気を抜いた2時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 ・治療後に採血と心電図を行います。 ・点滴終了後、針は留置したままとします。 	・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 ・治療翌日に採血と心電図を行います。 ・症状がなければ留置針を抜去します。	・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	・医師の指示で採血や心電図の検査があることがあります。				
生活 行動	・医師の指示で活動の制限があります。 	・身体付属品（義歯、補聴器、コンタクトレンズ、指輪、ピアス、かつけまつ毛、ジェルネイル）の除去をお願いします。 また化粧をしている場合は化粧も落としてもらいます。 ・車椅子かベッドで1階のカテーテル検査室へ行きます	・医師の指示があるまではベッド上安静となります。 ・トイレの際は車椅子での移動か尿器での対応になります。	・医師に確認後、安静度の変更があります。	
清潔	・心臓への負担をかけないようにシャワー浴ではなく身体拭きで対応します。			・傷の状態に異常がなければ入浴できます。	・傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	・治療食となります。（カロリー・塩分制限食） ・水分に制限はありません。治療に影響がでる可能性があるため、水かお茶でお願いします。	・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。 	・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。				・退院時内服処方が必要に応じ出ることがあります。
観察	・心電図モニターを装着し、胸部症状の変化を観察します。いつもと違う感じがある時はベッドに横になりナースコールを押して下さい。必要時は心電図検査をします。		・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。		
その他	・治療の状況により、足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。		・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分（水・お茶）を多めに摂りましょう。		
備考					

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
循環器内科